

第2回黒部市総合振興計画審議会 会議録（要旨）

日 時 令和12月26日（月） 午後1時30分～2時55分

場 所 黒部市国際文化センターコラーレ マルチホール

1 開会

2 会長あいさつ

3 報告事項

(1) 計画策定に係るこれまでの経過について・・・・・・・・・・資料1

4 協議事項

(1) 審議会第5回部会以降の修正点について・・・・・・・・・・資料2

別冊 計画素案

(2) 中間報告案について・・・・・・・・・・資料3

別冊 計画素案

5 その他

6 閉会

○出席者

（審議会委員）

河村 隆志	山口 直次	八尾 隆夫	米陀 峰信	川本 敏和
中陳 義榮	大橋 聡司	植木 真人	川端 康夫	平野 正義
松下 哲也	高村 克宏	山本 覚	高柳 百合子	中田 哲二
菅野 宏美	前田 潤	永井 出	堀田 美雪	谷口 政芳
河田 勇（代理）	二本松 守	森下 泰行	松島 悟	柳原 欣一
松田 賢悟	田村 登	伊藤 節子	村田 洋子	中村 和之
町野 美香	荻野 弘文	今西 悠太	舟崎 弘美	高椿 鮎美

（専門委員）

林 利行	浅野 健一	西村 聡	甲田 憲幸	川口 歳則
板川 達人（代理）		村田 芳朗		

（欠席）

濱田 政利	坂井 英次	稲田 正道	尾山 誠	松井 浩規
大橋 直樹	此川 昇	田村 豊嗣	島 匡宏	中野 信二
水野 伸之助	山倉 澄雄	能登 一昌	福島 潔	

<p>1 開会</p>	
<p>●事務局</p>	<p>定刻になりましたので、ただ今から、第2回黒部市総合振興計画審議会全体会を開会いたします。私は企画情報課の林でございます。本日の司会進行を務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>各委員、専門委員の皆さまのご紹介につきましては、大変恐れ入りますが委員名簿と本日配らせていただきました席次をもって紹介に代えさせていただきます。なお、第6部会に所属しておられた橋詰真知子委員につきましては、11月から黒部市議会議員になられまして、本計画を議会において審査する立場になられたため、委員を辞職されております。</p> <p>本日の全体会の出席状況につきましては、審議会委員47名のうち34名の方々に、また、専門委員10名のうち7名の方に出席いただいております。また、市側の出席者につきましても、席次をもって紹介に代えさせていただきます。</p> <p>それでは、中村会長から一言ご挨拶をいただきたいと思っております。</p>
<p>2 会長あいさつ</p>	
<p>●中村会長</p>	<p>皆さんこんにちは。本日はお忙しいところ、第2回黒部市総合振興計画審議会全体会にご出席をいただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>さて、今年の11月だったと思うんですけども、第1回の全体会を開催させていただきました。その後6つの部会に分かれまして、約1年間、計5回の部会を開催していただきまして、それぞれの分野ごとに総合計画の中身を詰めていただいたということでございます。皆さまの真摯な議論のおかげさまをもちまして、基本計画がかたちを整いつつあるというふうに考えているところでございます。</p> <p>本日の全体会でございますが、全体の各部会のご意見、あるいは市側の意向等を踏まえた修正案をご提示をさせていただきます。基本的には本日の全体会で基本計画の構成等をご議論いただいた上で、その結果をもって中間報告とさせていただきます。その後、改めて市側の意向も反映したものをパブリックコメントに付すというかたちで進めさせていただければというふうに考えております。パブリックコメントで広く市民の方々からご意見をいただいた後、次回の全体会で最終的な取りまとめをすることができればというふうに考えております。</p> <p>それでは、本日もいつもどおり活発なご意見、議論ができましたら幸いでございます。どうかよろしくお願ひ申し上げます。</p>
<p>●事務局</p>	<p>ありがとうございました。それでは、ここからの進行につきましては、中村会長にお願いしたいと思いますのでよろしくお願いいたします。</p>
<p>●中村会長</p>	<p>それでは私のほうで次第に沿って進めさせていただきたいと思っております。円滑な議事の進行にご協力いただければと思っております。</p>

3 報告事項

(1) 計画策定に係るこれまでの経過について

●中村会長	それでは次第3でございます。報告事項でございますが、計画策定に係るこれまでの経過について、事務局のほうからご説明をお願いいたします。
●事務局	<p>それでは説明させていただきます。</p> <p>資料1をご覧ください。A3の縦長の資料になっております。左側、審議会の11月の欄になりますが、前回は第5部会として、11月10日から11月15日にかけて、各1から6までの部会を開催し、素案第2校の確認をしていただきました。その際にいただきましたご意見や市側でも見直ししました内容につきましては、各部会長と事務局に一任いただきまして修正作業を進めてきたところであります。12月16日庁内推進体制ですが、策定委員会で中間報告案を確認しまして本日12月26日第2回全体会を開催したところであります。</p> <p>本日はパブリックコメント前の最終回ということで、中間報告取りまとめに向けた確認をしていただくこととしています。そして会長からのご挨拶にもありましたが、今回いただきましたご意見を反映させまして、中間報告として取りまとめたものを市長に報告することとしております。また、さらに市側でも細かい部分も含めまして、追記修正等を行い、右側の市民参画の欄にあります。1月下旬から2月上旬にパブリックコメントを行うこととしております。そのパブリックコメントを受けまして2月上旬に策定委員会で基本計画案を確認し、2月中旬に第3回全体会を開きまして、最終取りまとめ、市長への答申を行うこととしております。一番右側の市議会の欄になりますが、3月定例会におきまして後期基本計画に係る議案を上程することとしております。前回11月の第5回部会でスケジュールの報告をさせていただきました時には、パブリックコメントを12月下旬から1月上旬、第3回の全体会は1月下旬を目途としてということで報告させていただきましたが、市側での修正等、少しお時間をいただきたいと思ひまして、1か月弱ほど後ろ倒しになっております。ただし、3月定例会への議案上程は変わりありませんので、どうぞご了承いただきたくよろしく願いいたします。</p>
●中村会長	<p>はい。ありがとうございます。ただ今経過及びスケジュールについてご説明いただきました。若干後ろにズレておりますが、最終的にはスケジュールは変わらないということでございます。また、今回中間報告というふうになってございますが、こちらで中間報告を私どもの審議会で取りまとめた後は、一旦私たちの手を離れましてパブリックコメント、それから市側の意向を反映した修正等を経まして次回の全体会で取りまとめということになるかと思ひます。</p> <p>ということで、実質的に、ほぼほぼ私たちとしても最終的な案というところ、本日も審議いただければというふうに考えております。</p>

皆さま方のほうからご質問等ございますでしょうか。

(質問・意見なし)

よろしいでしょうか。それでは、今後のスケジュールを含めて確認をさせていただいたということにさせていただきます。

4 協議事項

(1) 審議会第5回部会以降の修正点について

●中村会長

それでは続きまして、協議事項に移らせていただきます。

協議事項の1番目でございます。審議会第5回部会以降の修正点についてこちら事務局のほうからご説明をお願いします。

●事務局

それでは、協議事項審議会第5回部会以降の修正点についてご説明いたします。資料のほうはA4横のかたちになっております資料2。それから別冊になっております後期基本計画素案12月現在というものを同時に見ていただくようなかたちで進んでいければと思っております。

それでは、資料2の全般を見ていただきますと、全般的にSDGsの漏れがないかということで、全体的に各種SDGsマークについて再確認を行っております。それから全般的に誤字脱字、表現の漏れについて修正を行っているところでございます。また、全体的に表現の統一を行っていくということで、今回の提示は1回目のチェックでありまして、まだ細部にまで修正しきれないものもございますが、この後も最終案まで確認していきたいと思っております。また、分かりにくい用語につきましては、全般的に欄外のほうに注釈を付けさせていただいております。また、この冊子のほうの169ページから用語解説というかたちで別ページで用語解説集のほうを作成させていただいております。

それでは、資料2の前段案の部分でございます。第1から第2部になりますが、別冊の4ページをご覧ください。別冊の4ページの下の方のほうで、分野別個別計画のところ少し短く途切れておりましたので、こちらのほう一部修正して、全体にかかるものとして修正を加えております。

それから6ページをご覧ください。6ページにつきましては、赤字の部分でございますが、こちらのほう文章を分かりやすくするために順番を入れ替えて修正し、人口減少から始まって修正を加えさせていただいております。また、中段の産業別就業人口の推移について、それぞれの産業別の割合のほうを追記させていただいております。

それから9ページのほうをご覧ください。9ページのほうは市民アンケートの調査結果でございますが、前回の調査時期が分かりにくいというご意見をいただきましたので、冒頭のほうに前回の調査時期を追記させていただいております。

それから11ページでございます。こちらの満足度と重要度の表でございますが、こ

こちらのほう、重要度が低いとか満足度が低いということで、誤解を受けないかということでご指摘がございました。この部分、青色の部分を追記させていただきまして、偏差値として表記しているため、相対的に高いものと低いものが表示されることを追記しておるところでございます。

それから、反映はしておりませんが19ページのほうご覧いただきたいと思います。19ページ環境の変化ということでご意見をいただいたところでございます。こちらのほう10年間の気温の推移、それから降雪量等の推移を記載させていただいておりますが、もっと長いスパンをとるべきではないかという指摘がございました。こちらのほう我々のほうでも検討したわけなんです、今現在10年間だけでも少し気温の変化が見て取れるということ、さらに長い期間となればどれくらいの期間をもってあげればいいのかという部分もございまして、今のところ10年間のスパンでそのまま書かせていただいたところでございます。

それから22ページのほうをご覧ください。22ページのほうにつきましては、人口減少への対応ということについて、市民に分かりやすく伝えるため具体的な例を少し追記させていただいた上で、文章などを修正を加えさせていただいております。

それから24ページのほうでございますが、24ページのデジタル社会の実現のところでございます。こちら一部表現のところ余剰の出た人員というところの部分少しソフトな表現に修正をさせていただいたところでございます。

それから資料2の次のページにいまして、25ページの部分でございますが、支え合うまちづくりの部分でございます。こちらのほうに、これまで地域において大きな役割を果たしてきた、町内会、振興会、民生委員等の団体等につきまして追記しております。

それから27ページのほうでございます。27ページ、それから28ページのほうには前回お示したとおり、基本理念を2つ追加させていただいたわけですが、27ページのほうには、その基本理念を追加した理由について、付け加えさせていただいております。それに伴いまして文章全体を修正を加えているところでございます。

それから28ページの体系表のほうでございます。いわゆる人口減少対策のほうにつきましては、7つの項目で構成しておりましたが、それを整理いたしまして、3つの柱に整理させていただきまして、具体的な取組をその下のところに付けるというかたちで、29ページ、30ページのほうに付け加えさせていただいております。3本柱のほうにつきましては、「コロナ禍の変化を活かした外部人材の活用」、「地元密着と将来のUターン」、「子どもを産み育てやすいまちづくり」という3本立てにいたしまして、29、30ページのほうで、それぞれの取り組み方について整理しておるところでございます。

それから30ページのほうをご覧ください。30ページのほうで委員の方から、地域

教育（未来の大人への種まき）というところで、がんばる人という表現がございました、この部分が少し誤解を招きやすいのではないかというご意見をいただいたところでございます。これにつきましては、市側の意図は活躍する人（女性）の成功体験をみんなで共有することと思っておりましたので、その部分を分かりやすく「活躍する人」というようなかたちで表現を改めさせていただいております。

それから31ページからのほうでございますが、こちらのほうに32ページから基本目標Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳというふうに表記が記載されております。その中で赤字の修正部分につきましては、少し29、30ページの人口減少対策の具体例を追記しまして、分かりやすいように修正を図ったところでございます。

それからこちらのほうの数値目標のほうで、いくつかご意見をいただいております、まず1つめ32ページの所得金額のほうでございます。所得金額のほうにつきましては、少し物価が上がってきている中で、もう少し高い目標値にするべきではないかというご意見もいただいたところでございます。こちらのほうにつきましては、現時点ではコロナの影響で下がっているという事実もございまして、物価は上昇しておりますが、先日の日銀の発表もあり、先行きが現段階では不透明ということもございまして、なかなか今時点では目標値をかなり上のほうにもっていくのはなかなか厳しいということもございまして、前回お話をさせていただいた目標値に据え置かせていただいたところでございます。

それから基本目標Ⅲのほうで、こちら数値目標のほうが合計特殊出生率ということで計画から引っ張ってきた数値のほうを記載させていただいております。こちらのほうに出生数のほうも必要ではないかというご議論をいただいたところでございます。こちらのほう県のほうでも議論が出ておるよというご意見をいただきまして、県にも議論があったことを確認しております。その上で県のほうからは、出生数のほうにつきましては、公表をしていないということでございまして、我々のほうでも少しそういったことで出せるのかどうかということで内々的に議論したところでございます。それで結果として、現時点では令和2年度の国勢調査の人口予測が出ていないため、現時点で市単独で目標値を設定することはなかなか厳しいものがあるということでございまして、こちらの出生数の記載につきましては、次回の総合振興計画の改定時、それから人口の予測が出てきた際に策定を予定しております「人口ビジョン」策定の際の課題とさせていただきますというふうに考えてございまして、こちらのほうの出生数のほうにつきましては、その時までの課題とさせていただきますなど考えておるところでございます。

それから次は第3部後期基本計画のほうに入っております。

まず、第1章のほうの部分でございますが、42ページのほうの記載のほうになります。前回の部会のほうでは黒部川総合土砂管理の促進について、少し河川整備が図られている文言があればよいということでございましたので、42ページのところに河

川整備のところを追記させていただいたところでございます。

それから45ページでございますが、こちら森林環境の保全の部分でございます。こちらのほうで森林環境譲与税が使われていることを表記してはどうかというご意見をいただきましたので、青字のとおり修正を加えたところでございます。

それから49ページから51ページにかけて、こちらのほう脱炭素・循環型社会の形成のほうで、前回までは再生可能エネルギー、新エネルギー、自然エネルギーの3つの言葉が使われておりました。なかなかこういった3つのエネルギーは間違いやすいと言いますか、誤解を招きやすいということで、ある程度統一したほうがよいのではないかという話がありました。その中身を含めまして再生可能エネルギーに統一をさせていただいたところでございます。

それから第2章のほうへ進みたいと思います。第2章のほうでございますが、61ページから人材面からの産業活性化ということでテレワーク、リモートワークという言葉が2種類のほう混在しておりました。こちらのほうにつきましては、テレワークで統一を図っているかたちになります。

それから63ページのほうで、人材について、ピーク時の従業員数は多いが閑散期になったら辞めてしまうということで、こういった人材を活用できないかということでございまして、【現況と課題】のところはその部分を追記させていただいたところでございます。

それから第3章の部分でございます。第3章のほうにつきましては、80ページから始まっておりますが、その中で81ページのほう、【市民・NPO・事業者等へのメッセージ】に、【現況と課題】のほうにこれからのまちづくり方針に関して、どのように市民に周知し、理解を求めていくか検討する必要があるということ踏まえて、一緒に考えるという記載があってはどうかということをお願いしております。メッセージのほうに「取組について、一緒にアイデアを出し合いながら考えていきましょう。」というかたちで修正をかけたところでございます。それから委員の方から、施策の内容部分でございますが、土地利用の規制・誘導のところ、都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の見直しの協働体制のところ、都市計画審議会も入れてはどうかということでご意見をいただいたところでございます。こちらのほうに記載はございませんが、今こちらのほうの協働体制のほうにつきましては、担当課のほうと確認いたしまして、追記すべきか検討した上で次回の時には結論を出させていただきたいというふうに思っております。

それから82ページのほうでございます。82ページのほうの【現況と課題】のほうでございますが、こちらの部分に生地駅周辺整備について、市内に及ぼす効果を明らかにする調査の必要性や、その結果の市民への公表、合意形成の必要性について追記をさせていただいたところでございます。

それから83ページの部分でございますが、82ページの【現況と課題】のほうに民

間企業と地域で移動を支え合うという文言があるかたちになっておりますので、【市民・NPO・事業者等へのメッセージ】につきましても、85ページになります、すみません。85ページのメッセージのほうに「身近な移動手段について「地域で支え合う」ことを考えましょう。」ということでメッセージを追記させていただいたところでございます。

それから第4章でございます。第4章のほう99ページから始まるわけですが、108ページに飛んでいただきまして、事業メニューのところに生きがづくり支援施設の充実があるということで、施設ではないが介護予防において地域で支え合いながら行っている事業もあり、そういったことも入れてほしいということでございまして、生きがづくりの事業のところに「ふれあい」という正式名称に修正したものと、それから109ページのほう介護保険事業の事業メニューの中段、こちらのほうに先ほど言いました見えるようにしてほしいということで、かっこ書きで地域支え合い推進事業の文字を追記させていただいております。また、【市民・NPO・事業者等へのメッセージ】のほうにつきまして、地域住民が主体となる「通いの場」の活動について追記をさせていただいたところでございます。

それから110ページからのこれまでの取組の下段の部分、障害就労施設の部分でございますが、より相応しい表現にしたほうが良いということで委員からご意見をいただきましたので、青字のとおりご意見のとおり修正を加えたところでございます。

それから112ページのほうご覧ください。112ページの課題と現況のところでございますが、こちらのほうに保育料、給食費の無料化等の記載があったらよいということで、ご意見をいただいております。112ページのほうで国、県と連携した保育料等の無償化について追記させていただいたところでございます。

それから第5章のほうでございます。第5章のほうにつきましても115ページから始まっておりますが、116ページの文、それから123ページの文章について、一部重複しておることがありましたので、こちらのほうを重複している部分を省略させていただいたところでございます。

それから125ページのほうでございますが、125ページの公民館活動のほうでございます。こちらのほうで公民館の活動は高齢者と子どもがメインになっていると思うということで、他の世代、間の世代に来ていただきたいということで、少しこちらの部分については、高齢者も引き続き利用してもらいつつ、さらに利用が少ない方も利用してほしいという観点からの書き方に修正を加えさせていただいたところでございます。

それから、最後第6章の部分でございますが、6章の部分は136ページからスタートしているかたちになります。その中で140ページの部分でございます。市民・NPO等との協働の推進のところでございますが、こちらのほうに多様化する市民ニーズと記載されているが、この表現だと市役所が市民ニーズに応えるイメージが強調され、市民の主体性が表現されていないと思うということでございまして、多様化する地域課

題のようにすれば、ある程度主体性も入ってくるということでございまして、課題と現況のほう「多様化する地域課題」というかたちで修正を加えさせていただいております。また、新たに行政と企業との関係について、その下の部分で記載されておりますが、こちらのほうについて、行政と企業だけではないはずというご意見をいただいておりますので、こちらのほうに「市民活動団体・NPO等」というものを追記させていただいたところでございます。それから同じく【施策の展開方針】のほうにつきましては、市民・NPOなど各種団体と対話の場を設けと記載されておりますので、こちらのほう、メッセージのほうにもその部分を反映させてはどうかということでもありますので、141ページのほうに市民・NPO等へのメッセージのほうで、青字のとおり「主体的に地域課題に取り組みましょう。」ということでメッセージのほうを修正させていただいたところでございます。

それから149ページ。先ほど前段部分でも修正を加えておりますが、6-6デジタル化の推進の自治体DXの推進の部分でございまして、こちらのほうにつきましては、先ほども言いましたとおり、余剰人員という言葉等ありましたので、その部分、委員のほうからすべて充てるという表現等も含めて修正してはどうかということでご意見をいただいたところでございます。こちらのほうでは「併せて、デジタル技術は、省力化を可能とすることから、人的資源の再配置による」というかたちで文章をソフトな表現に修正させていただいたところでございます。それから150ページのこれまでの主な取組のところ Wi-Fi 化した施設やデジタル化の取組を追記させていただいたところでございます。それから直し漏れがございましたので、この後修正したいと思いますが、150ページの【施策の展開方針】の一番下の「デジタル技術による業務効率化により余剰の出た人員を活用し」は少し直し漏れがあったので、先ほどの部分に合わせて少し表現のほうをソフトな言い方に修正したいと思います。

ここまでが前回見た部分の修正点でございまして。

●中村会長

はい。ありがとうございました。

ただ今、前回の部会で頂戴したご意見に対する必要な修正等をご説明をいただきました。それぞれの部会でご審議いただいた委員の皆さま方には部会での議論が反映されたものになっているのかご確認いただきたいと思っておりますし、それから、他の部会の内容というのをご覧いただくのは初めてなのかなと思っておりますので、その辺りのところでお分かりになりにくい点等ございましたらお聞かせいただきたいと思っております。

また、全体の構成といたしまして、最初の前段部分でですね、背景となる考え方、あるいは実態等を説明しております。このところでも、いくつかすでにご指摘をいただいているところではございますが、何かお気づきの点があればお聞かせいただきたいというふうに思います。

後ほど、次の議題で中間報告の素案について全体像をご説明させていただくとい

	<p>うふうに予定しておりますので、その場でご質問いただいても結構でございます。個別具体的な点については、この場でご質問いただければなというふうに思います。</p> <p>どなたからでも、どこからでも結構でございますが。</p> <p>はい。お願いいたします。</p>
○A 専門委員	<p>専門委員の A と申します。</p> <p>ひとつですね、140ページの市民参画によるまちづくりの推進のところ、せっかく協働にプラスして共創というところを一番下のところに入れていただいておりますが、一番下のほうの【施策の展開方針】のところに、協働だけ触れられておまして、共創が触れられておりませんが、これは検討の上なのでしょうか。それとも入れ忘れなのでしょうか。</p>
●中村会長	はい。ありがとうございます。事務局のほうで何かご説明ありますでしょうか。
●事務局	こちらのほう共創のほう追記させていただきます。
●中村会長	<p>共創のほう追記するというごことですが、よろしいでしょうか。</p> <p>はい。ありがとうございます。</p> <p>その他何かございますでしょうか。</p>
○B 委員	<p>第1部会の B といいます。</p> <p>19ページ。前回の部会の中である委員が言われて検討されて、この10年間の推移になったと説明があったのですが、まず10年間にするんだったら、もうちょっと縦軸を0からではなく変化が大きく見せるとか、それと棒グラフなんですけど私は普段折れ線グラフかなと思ったりするのですが、その辺ちょっと検討していただきたいなと思います。以上です。</p>
●中村会長	はい。ありがとうございます。折れ線グラフのほうが適当じゃないかというご意見もありましたけれども、どうですか。ご検討いただけますかね。そしたらね。事務局のほうで。
●事務局	たしかに言われてみると棒グラフより折れ線グラフのほうが適当という気もしますので、今いただいたご意見2つ検討させていただきます。
●中村会長	<p>ありがとうございます。他何かございますでしょうか。</p> <p>はい。お願いいたします。</p>
○C 委員	<p>第1部会の C です。</p> <p>何点か申し上げたいのですが、まず32ページの一人当たりの所得金額を令和3年度から9年度にかけて、これだけ上昇させるというような目標値がありますけれども、昨今の物価上昇から鑑みて、物価上昇にスライドして賃金も上がっていくんですね。この上昇率だと0.何パーセントしか上がっていかない計算になります。これは今の物価上昇率から鑑みて、ちょっとあまり低すぎるのではないかなと感じておりますので、今一度精査をしていただければというふうに思います。</p> <p>それから28ページなんですけども、基本理念のところ新たに2つが加わりまし</p>

た。基本理念というのは、物事の根幹の考え方ですね。理念というのは、ここに書かれている文言というのは、そのアウトプットなわけなんですけれども、「市民の参画と協働によるまちづくり」これは元々のものです。これに「みんなでつくろう黒部の未来」とみんなのチャレンジ云々とあるのですが、この1行目と2行目のってアウトプットとしては、理念としては同じことが書かれているというふうに思います。そういった意味ではこの同じ考え方ものを羅列、2つあるというのは、ちょっと違和感があるので、みんなでつくろうとみんなのチャレンジ、この2つに置き換えても理念そのものは変わらないと思いますので、アウトプットの仕方としてはそのほうが適当ではないかなと考えるところであります。

あとですね、22ページの最後の行「出生率を向上させていく必要があります」と、33ページの先ほど事務局から説明ありましたが、合計特殊出生率に加えて出生数というものを黒部市としては、なかなか書きにくいという話がありました。数字として出せないのとありました。そこは理解はしつつもですね、今富山県では、私、富山県の少子化対策子育て対策県民会議の会長をしていますけども、去年までは合計特殊出生率を県の目標に掲げておりましたけど、今年からやめたんですね。それは合計特殊出生率というのに然したる大きな意味はないということなんです。子どもの数が減っているという理由は、昭和47年にピークだったんですけども、18,075人の子どもが富山県に産まれていたものが、令和3年には6,076人に1/3以下になってしまっているんですね。だからいくら合計特殊出生率を上げたとしても、そもそも子どもの数が1/3になっているので、このまま合計特殊出生率を目標に掲げていても極めて大きな人口減少は続いていくということになります。大事なのは子どもを産むための結婚、婚姻数を増やすということが大事で、富山県でも目標をそこに焦点を当てています。ですから、次回の総合振興計画の中への課題というふうにしておられることに理解はしても、あと5年も放っておいたらまた人口の減少は進んでしまうということなので、この5年間のうちにしっかり手を打っておかないといけないということだと思いますので、そこらへんは数字に書くか書かないかは別にして、しっかりとした対策を検討する必要があるのではないかというふうに考えます。以上です。

●中村会長

はい。ありがとうございます。複数の論点からご提議いただきました。

まずですね、所得の金額のところ。たしかに基準値と目標値という切りがいいところに合わせたみたいなイメージがあるんですけども、なかなか書きにくいことはよく分かるんですけども、ここは少し、もし書きにくいのであれば文章のところでしっかり所得を増やすところが大事です、というところはしっかり補っていただくということが委員のご意見を反映させるひとつの方向性なのかなというふうに思います。本来であれば物価の上昇分を差し引いたりだとか色々やればいいんですけども、そこまでテクニカルまでにしたとしてもつながりにくいところがあると思いますから、メッセージとしてしっ

	<p>かりと担保していくということが伝わるようなかたちにさせていただければと思います。</p> <p>それから理念のところですけども、今回改めて全体のこの計画を見させていただくと、分かりにくいところは具体的に補うというかたちで記述を丁寧にしていこうというところがあるのかなと思います。この基本理念というところもそのひとつなのかなと思いますけれども、改めて委員からもこの場でこういったご意見が出たということで、一度検討していただければというふうに思います。</p> <p>出生率の話。そうなんです。子どもの数なんです。やっぱり問題というのはね。出生率が高くなっても、その出生率を計算する時の対象になっている若い方々が減ればそのまま子どもの数は減っていくということでもありますから、問題意識として子どもの数をどう維持、あるいは増やしていくかということは課題なんだというところは、この基本計画の中でしっかりと共有していただきたいというふうに思います。ありがとうございます。</p> <p>いかがでしょうか。他にございますでしょうか。</p> <p>はい。お願いいたします。</p>
○D 委員	<p>第1部会のDです。</p> <p>56ページの【市民・NPO・事業者等へのメッセージ】の欄ですが、市民・NPO等の皆様への3行目です。「火災を未然に防いでくれる住宅用火災警報器の設置を進めましょう」というふうに書かれておりますが、住宅用火災警報器ってこれ火災を未然に防いでくれるものではないんですよね。火災の発生をいち早く知らせ、命を守るための機械だと私は認識をしております。このような書き方をされていますと、中には市民の方なり一般の方がちょっと勘違いされることがあるのではないかなという認識がありますので、この辺りもう一度再考をお願いしたいと思います。</p>
●中村会長	<p>はい。ありがとうございます。事務局のほうでこのように記述した何か特別な意図みたいなものはありますか。</p>
●事務局	<p>すみません。こちらのほうにつきまして、担当課と確認した上でもう一度修正のほう検討させていただければと思います。</p>
●中村会長	<p>私たちの普段イメージとしては火災警報器というと、火災が起きた時にそれをいち早く知らせるといったイメージがあるのですが、ひょっとしたら何かリスクが発生した時にそういったものをいち早く伝えるといったことをイメージされているのかも分からないので、ここはもう一度確認をして、それから誤解のないような表現を検討いただくということをお願いいたします。</p> <p>いかがでしょうか。他にございますでしょうか。</p> <p>(質問・意見なし)</p> <p>それではですね、改めて立ち戻っていただいても結構かというふうに思いますので、先に進めさせていただければというふうに思います。</p>

(2) 中間報告案について

- 中村会長 それでは協議事項の2番目でございます。中間報告案についてご説明をお願いいたします。
- 事務局 はい。それでは、中間報告の話を進めさせていただきたいと思います。中間報告案につきましては、資料3のほうをご覧ください。資料3のほうに第2次総合振興計画後期基本計画の審議会審議における中間報告の概要ということで、一応この資料3を今素案ということで、別冊で用意しておりますが、こちらにくっつけた上で市長へ中間報告というかたちで事務的な鏡文を付けまして行いたいというふうに思っております。
- それですまず資料3の中間報告の概要のほうでございますが、まず1番目につきましては、後期基本計画の構成ということで整理させていただいております、第1部序論、第2部後期基本計画の策定にあたって、第3部後期基本計画の3部で構成するというかたちで、それぞれの内容について目次形に近いものですが、こういったかたちで策定を進めておるということで報告しようと思っております。
- それから次のページいきまして2番目でございます。2番目のほうにつきましては、後期基本計画策定にあたり求められる共通する視点ということでございまして、1から8番目までの項目に沿って策定作業を進めてまいりました。ということで報告するようにしております。詳細は後期基本計画素案の22ページということで、先ほどの別冊の22ページに記載してあったいわゆる第3節後期基本計画策定にあたり求められる共通の視点という部分に記載をさせていただいております。
- それから3番目、施策の体系についてということにつきましては、第2次総合振興計画基本構想を踏まえながら、上記の視点から後期基本計画を市民とともに推進していくため、基本理念に2つ「みんなでつくろう黒部の未来」、「みんなのチャレンジを応援し、住む人が輝き、人が人を呼び込むまち」という2つを追記しました。ということを加えた上で、各施策の区分について整理をしたということで、新しく加わったもの、それから文言的に修正したものを記載をさせていただいております。こちらのほうでは、基本方針1のほうでは「脱炭素」という文言追加。それから「防災・消防」こちらのほう順番が入れ替わってというかたちにしてあります。それから基本方針2のほうにつきましては、新たな項目といたしまして「人材面からの産業活性化」、それから「働き方改革・雇用の確保」を追記させていただいた部分、それから基本方針3のほうでは「出かけやすい、出かけて楽しいまちの構築」のほう追記、計画面のほうについて追記させていただいたところ。それから次のページいきまして、基本方針6のほうにつきましては、こちらのほうで、これまで市民の参画という部分で1つであったものを、市民活動の支援ということで1つであったものを改めてそれぞれの項目に分けて、1つは「市民・NPO等との協働の推進」、それから「コミュニティの強化」というこ

とで、今まで地域属性を主としていたコミュニティのことにつきまして、今度グループ属性のほうも取り組んでいくという部分で、その部分を独立させたわけでございます。この部分につきましては、28ページの別冊の体系表のほうで表記されておるかたちになっております。

それから4番目、後期基本計画についてということで、いわゆる後期基本計画各章の構成のほうについて、少し述べさせていただいております。これまでと同じく「現況と課題」、「これまでの主な取組」を整理し、「施策の展開方針」、「施策の内容」、「主な指標と目標」を記載させておるということございまして、各章をご覧いただくということを想定しております。なお、基本計画の施策の内容に記載されている個別事業につきましては、代表的なもののみを記載しており、すべての個別事業について、基本計画に基づく実施計画に網羅されることになるということになります。なお、実施計画に記載されている個別事業は、毎年PDCAサイクルによる進捗状況の確認を行い、事業の見直し、修正や廃止や必要とされる新規の個別事業の追加を行うということで、その検証、それから更新の方向につきましては、従来とやり方を踏襲していくということを述べさせていただいているところでございます。

それから5番目、総合戦略との関係性につきましては、これまで総合振興計画とは別に、人口減少を抑制し、地域の活性化を図ることに特化した各種施策を取りまとめた総合戦略を策定しておりましたが、これにつきましては、総合振興計画に総合戦略に係る施策がすべて網羅されていることや目標指数も類似するものがほとんどであることから、総合振興計画に総合戦略を包含したかたちで作成している旨を記載しておりまして、具体的には別冊のほうの31ページから記載を参照していくというかたちをもって、中間報告の概要というかたちでこの部分を別冊と合わせて市長へ報告したいというふうに思っております。

なお、色々委員さんの意見もございましたが、今後の修正と取りまとめにつきましては、会長と部会長さんのほうに皆さまからの一任をお受けしたいということ。それから中間報告につきましては、文章形で事務的に行い、第3回全体会後に会長、部会長のほうには市長に面会し、答申するかたちにしたいと考えております。

ここまでが中間報告の概要のほうの説明になります。

●中村会長

はい。ありがとうございます。

ただ今ですね、中間報告の案についてということでご説明をいただきました。

1つご確認いただきたいのが、資料3のようなかたちで中間報告の概要というものを作成しているというところでございます。ここには後期基本計画の構成から始まりまして、施策の体系等を記述して、全体の作り付けを記述をしているというところでございます。実は各部会におかれましては、このような建て付けを前提としてご議論いただいていたのかなというふうに思いますので、このところ、もしご確認いただいて少し漏れているところがあれば

ば、ご指摘いただければというふうに思いますが、概ねこのとおりかなというふうに思います。それと先ほどもご議論いただいております後期基本計画の素案というものと合わせて、中間報告として提出をするというかたちになってございます。

それでは、この中間報告の概要というところ、何かお気づきの点等ございますでしょうか。全体の位置付けというか、こういうかたちでつくりましたというものでございますが、よろしいでしょうか。

(質問・意見なし)

それではこちらもまたお気づきの点あればお聞かせいただければと思いますが、どちらかという大事なのが、素案のほうでございます。先ほどもご意見伺いましたでしたが、改めてこのような全体の構成の中で、このようなものができたというところで、さらにお気づきの点、あるいはご意見、ご質問等ございましたら、ぜひお聞かせいただければというふうに思います。先ほど事務局からお話がありましたように、今回いただいたご意見で、部長あるいは私に取り扱いについては一任というかたちにさせていただきたいというふうに思いますが、ぜひ何かご意見あればお聞かせいただければと思います。いかがでございましょうか。

○E 委員

第3部会の E です。最近の報道とか話題の観点で、パブリックコメントに出てきそうな質問という観点で3つさせていただきます。

1点目ですけれども、施策区分1-5脱炭素・循環型社会の形成について49ページになると思います。脱炭素ですとか、カーボンニュートラルにつきましては、国、県、市町村とも様々な施策を行っています。その中で先月21日に富山県が富山県カーボンニュートラル戦略策定についてという戦略案を公表いたしておりました。中身を見ても2030年度の排出量を2013年度比、国の46%削減という目標を上回り53%削減という、富山県がそういう戦略を設定しているという内容でした。具体的な重点施策として小水力発電の拡充というのが明記されておりました。質問させていただきたい点としては、富山県カーボンニュートラル戦略という県がつくった戦略との関連性といいますか、小水力発電の拡充など黒部市に関連、期待されている分野も大きいのかなと思っておまして、今回の総合振興計画後期基本計画につきまして、県のそういう施策と連携して進めているかという点、それと今回の計画などに温室効果ガス排出量の足元の数字ですとか、目標とする後期計画の最終年度の目標値など具体的な数値で目標を掲げる必要はないのかという点について、1点まず質問させていただきます。

●中村会長

はい。ありがとうございます。

事務局のほうで答えただけのところでございますでしょうか。まず県の施策との関連性あるいはリンケージというところかと思いますが。

それでは今後、今委員からご発言のあった点よくご確認いただいて、きっちりとリン

クさせていかなければならない、この基本計画の段階です。ね、リンクさせていかなければならないものであれば、そのところのようなかたちで、ひょっとしたら記述を変えないといけないかも分からないですし、ご検討いただくということになるかと思えますし、あるいはもう少し個別具体の実施計画というところで落とし込んでいくということもあるのかなとも思います。その辺りのところは後期計画のところの49ページに書いてあるとおり、皆さん方も含めて大事だという思いがあると思えますので、より良く望ましい方向にいくためには、この計画の中でどのような書き方をすればいいのか、あるいは書き方だけではなくて、具体的にどういうふうに取り組みばいいのかということも検討いただいた上で、文言の記述等も再検討いただくということで。

はい。お願いします。

●事務局

今ほどありました県の計画との整合性というものにつきましては、もちろん県とも連携をとっていかなければならないものですから、その部分につきましては、さらに精査させていただきます、どこまでが現段階で計画のほうを書けるかどうかという部分、追記、検討させていただきたいと思えます。その上で間に合わない部分につきましては、実施計画のほうでさらなる検討を進めるというかたちで考えさせていただければと思います。

それから目標値のほうにつきましては、どこまで具体的なものを目標と掲げられるのかという部分がございます。県全体で出ている数値、それから市として把握できる数値というものに差がある場合もございますので、この部分につきましては、さらに精査させていただきます、掲げられるものにつきましては、最終の答申案、もしくは実施計画、それからさらにその下に今後つくられていくであろう個別の計画のほうに反映できるものはさせていきたいというふうに思っております。

●中村会長

よろしいでしょうか。では続けて。

○E 委員

2点目ですけれども、施策区分の2-5の観光の振興についてです。75ページかなと思うんですけれども、そこに記載のとおり、宇奈月温泉開湯100周年、黒部ルート的一般開放など後期基本計画期間の取組が重要なタイミングであるということが再認識できました。北陸地域では、2024年3月の北陸新幹線敦賀延伸のタイミングで富山県、石川県、福井県、この3県が観光面で連携していくという動きなど見られます。75ページの文中にも「長野から宇奈月」という文言がありますように宇奈月ルートですとか、大町ルート、立山ルートの3つのルートがあると思うんですけれども、それぞれのルートそれぞれの地域との連携も重要になってくるのかなと思います。黒部市さんのほうは金沢市との連携というか提携するような報道など拝見させていただいたんですけれども、宇奈月ルート、大町ルート、立山ルートの観点で長野県大町市ですとか立山町との観光面での連携っていうのは進んでいるのか、広域連携という観点でそういう取組の状況を教えてもらえたら教えてほしいなと思いました。

●中村会長	<p>2点目のご質問かと思えます。事務局のほうで現在の取組状況等分かればお答えいただければと思えます。</p> <p>はい。お願いいたします。</p>
●産業振興部長	<p>産業振興部長の高野です。ご質問の大町との連携、あるいは金沢市との連携につきましては、現在、金沢との連携は個別事業として今年度から取り組んでいるところでございます。2月に金沢のほうで少しシンポジウムを予定しているということと併せまして、新年度に入ってから引き続き金沢との連携も模索していくといった考えております。大町との関係につきましては、一般ルート開放に向けての玄関口の1つでもありますので、当然この連携というのは大変重要になってくると考えておりますので、これも個別具体的な事業として新年度以降しっかりとやっていく方向で、現在色々調整しているところでございます。そういう部分では広域的な観光ルートの中にしっかりと踏み込んで対応してまいりたいというふうに考えております。</p>
●中村会長	<p>はい。ありがとうございます。よろしかったでしょうか。</p>
○E 委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>最後3点目ですけれども、施策区分2-1の人材面からの産業活性化の61ページになります。【施策の展開方針】にあります「テレワークに適したテレワークスペースを整備します」というところなんですけれども、今全国でテレワークの場所だけ用意して失敗しているという事例も出てきているのかなと思っております。現在黒部市のほうでテレワークに適したテレワークスペースを整備しますというところについては、ハード面でどこにどのようなものをつくろうとしていて、ソフト面でどのようなコンテンツでどのような特徴を出して、黒部に人材を呼べるスペースを整備しようとしているのか、その整備の方向性について確認させていただけたらと思えます。</p>
●中村会長	<p>はい。ありがとうございます。お願いいたします。</p>
●産業振興部長	<p>産業振興部長の高野でございます。</p> <p>61ページの【施策の展開方針】のところでございますが、まずテレワークにつきましては、新たな施設をつくるというよりも既存の施設の中でテレワーク環境に即した施設という部分を見極めながら対応していくというふうな方向性にあると思えます。ただ、テレワーク自体は全国津々浦々で普及している取組でございますので、黒部らしさをどこにもっていくかという観点では、この下に書いてありますように、市内企業の課題解決という部分で、少しテレワーカーの方々に対して、せっかく黒部に来ていただいているということで、何か黒部の課題についても少し関わっていただくような施策を展開していきたいというふうに思っております。単なる施設の利用のみではないかたちで展開してまいりたいというふうに考えております。以上です。</p>
●中村会長	<p>はい。よろしいでしょうか。</p> <p>ありがとうございます。基本計画色々なかたちで取組が書かれておりまして、どれも</p>

	<p>重要なものばかりでございます。1つ1つ事業を着実に展開していくためにも具体的な取組を進めていただければと思います。</p> <p>テレワークに関していえば、委員がおっしゃられたようにサテライトオフィスをつくるだとか、そういったところに偏りがちで、必ずしもうまくいっていないところがあるというふうに聞いております。一方でテレワークをしている方々が所属するオフィスのほうの環境もしっかり整えてあげてテレワークのしやすさというのを充実させていくという方向も必要なかなというふうに思います。そういった意味で両面でテレワーク、働き方の改革につながりますから、進めていただければと思いますのでお願いいたします。</p> <p>いかがでしょうか。他にお気づきの点ございませんでしょうか。</p> <p>はい。お願いいたします。</p>
○B 委員	<p>第1部会のBです。</p> <p>他の部会のことなので、色々あってこうなったのかなということかもしれないんですが、ちょっとお聞きしたいことがあります。75ページの2-5観光の振興についてです。このページを見ると山の部分ばかりしか書いてないなという、そういうイメージがあります。一応上のほうでは「長野から宇奈月、富山湾」とか富山湾と書いてあるし、その下のブランディングの中には「黒部の魚をはじめ」という文字は出てくるんですけど、黒部峡谷の文言、宇奈月温泉の文言がすごい多いなと感じます。せっかく黒部には素晴らしい海もありますし、名水の里くろべでもあるので、何か物足りないなというものがあります。</p> <p>そして、SDGsに関しても山のほうの15番しか出ていないので、6番なり14番なりが入ってきてもいいんじゃないかなというふうに感じますので、その辺の経緯を聞きたいなと思いました。</p>
●中村会長	<p>はい。こういう記述でバランスでというところの意図、何かあればということで、事務局でもいいですし、部会長さんでも結構でございますけれども何かご意見あればお聞かせいただければなというふうに思いますが、いかがでしょうか。</p>
●産業振興部長	<p>産業振興部長の高野でございます。</p> <p>まずご指摘の海から山までという観点でございますが、当然本市の観光の特徴といたしましては山ばかりではない。海から山まで約20kmもあるかないかぐらいの非常に近い位置関係の中で本市があり、そして観光事業が展開されているわけでございます。当然本市の観光事業の軸の1つとすれば宇奈月温泉、黒部峡谷、一般ルート等もあるわけでございますが、特徴をしっかりと出す施策としては、海に近い、海から山までというところをしっかりと基本に据えて展開を図っていくという基本はありますので、この中に色々富山湾とか黒部の魚というものを入れさせていただいたわけでございます。</p> <p>あと SDGsの6番、14番につきましては、少しまたこちらのほうで検討をさせていた</p>

	<p>だきたいと思っております。以上です。</p>
●中村会長	<p>はい。ありがとうございます。よろしかったでしょうか。</p> <p>観光というところ何に焦点を当てるかというところで、1つは元来黒部市が強みをもっているっていったところをしっかりと打ち出していくというのと、それからさらに市内での回遊性、周遊性を高めていくというところの両面があるというふうに思います。基本計画の中で細かに書いていくというのは、なかなか難しいところがあると思いますけれども、意図としては先ほど委員がおっしゃられたところがあると思いますので、実施計画、あるいは個別の事業といったところでは十分意識が必要だということで心掛けていただきたいと思います。ありがとうございました。</p> <p>はい。お願いします。</p>
事務局	<p>それからSDGsのマークのほうなのですが、今回前段で説明いたしましたとおり、一度SDGsの見直しを図っておりまして、今おっしゃられた6番、14番につきましては、6番は安全な水とトイレを世界中にという大きい大項目がありまして、その後ターゲットが続いていくかたちになります。また、14番につきましては海の豊かさを守ろうということになっておりますが、今うちのほうでは、たしかに水という観点からいえば先ほどの黒部の湧水群とか関連が出てきとるわけなのですが、一旦我々のほうでは、本当のSDGsの直接的な意味合いに通じるもののみを少し記載させていただいて、整理させていただいたかたちになっておりますので、先ほど産業振興部長からもありましたとおり、内容のほうについてはさらに精査して、追記するかどうかは検討させていただければと思っております。</p>
●中村会長	<p>はい。ありがとうございます。</p> <p>結構広範囲に及んでいるので、これがいくつも付くと逆に焦点がズレる、ぼやけてくるということもあるかなと思いますので、その辺りしっかりエッジが立つというか、際立つようなかたちで発信をしていければなと思います。</p> <p>はい。お願いします。</p>
○B 委員	<p>ただですね、私は宇奈月温泉のほうと関わっているのでいいんですけど、海側の人たちがこれを見てどう思うかなと。山ばかりかみたいな感じにとられないかなという、そういう心配というか、そういうことが危惧されます。以上です。</p>
●中村会長	<p>はい。ありがとうございます。</p> <p>黒部市全体としての俯瞰的に見た時の強みっていうところを出していくというところで、こういう記述なのかなと思いますけれども、今後必要であれば検討していくというかたちにしていきたいと思います。</p> <p>いかがでしょうか。他に。はい。川端委員お願いいたします。</p>
○F 委員	<p>第2部会 F でございます。</p> <p>私は61ページ、62ページで複業という考え方、これやっぱりコロナ以降に出てき</p>

た、もちろんテレワークという絡みの中で出てきている部分だと理解をして部会でお話をしていましたけれども、この複業という概念、考え方がどれくらい普通の皆さんがもっておられるかという、まだまだじゃないかなというふうに思うわけですね。都会の方で大企業で入社しなくてもテレワークだけでやりますよという方々にとっては複業は身近で、家にいて違う会社の仕事をする。それはたくさん例として出てきているのは事実ですけれども、黒部において、そういう複業という考えをもっておられる方がどのくらいおられるのかという疑問があるわけですね。そういった中で、もちろん複業がダメだというわけではなくぜひ進めていくべきだと思います。そういう中で、62ページに事業者への部分、自社のもってる経営課題を明確にして複業人材を有効に使っていきましょう、これ非常にいいことなんです。これはぜひそういうふうに進めていくべきだと思いますけども、この上に「自分のスキルを活かせる複業を検討しましょう」こちらのほうについてはちょっと違和感がありまして、今政府でもリスクリングとか学び直しですよ。学び直しをしながらスキルを上げていくというふうな中で、自分の価値を高めていきましょう。そして給料が上がっていくようなかたち、そういう好循環を政府も狙っている部分だと思うんですけども、リスクリング、学び直しをどんどんやってみましょう、スキルを上げましょうくらいにしておいたほうが。複業を検討しましょうだと今やっている仕事から違うほうにいきましょうみたいな理解をされてしまうのではないかなという懸念をするわけですね。ですから、リスクリングで学び直しをどんどんしてスキルを上げていきましょう、くらいにしたほうがいいのではないかな。下段のほうの企業に対する部分では、複業人材を活用しましょうはいいと思うんですけど、そういう部分で、何か学び直しをしてスキルを上げていきましょうくらいにしておいたほうがいいのかという気がします。

●中村会長 おそらくこれ、働く側と雇う側の対比として書いていただいたと思うんですけども。はい。

事務局 今ほどご指摘のありましたとおり、少し表現のほうが偏りといいますか、方向性少しズレておったかもしれませんので、この部分今言われましたとおり、個人の部分については学び直し、それから自分のスキルアップという観点のほうを中心に表記させていただければと思います。

●中村会長 はい。ありがとうございます。
 黒部市にとっては外部から複業人材を呼び込んで、そういう方々に地域の課題もそうですし、地域の経済活動も担っていただくところが大事なのかなというふうに思います。一方で市民の方々については、なかなか産業構造みたいなところもありますし、どちらかというリスクリングといったほうがいいのかも思いました。ありがとうございます。

いかがでしょうか。他に、あちこち飛んで全然かまいませんので、お気づきの点をこ

の際ご指摘いただければというふうに思います。

あるいは各部長さんで部会での議論、このようなかたちで取りまとめをしておりますが、反映されているのかといった観点からでも結構でございます。何かお気づきの点あればお聞かせいただければと思いますが、どうでしょうか。

(質問・意見なし)

今ほど色々ご意見をいただきました。それについては事務局のほうでもご検討いただきながら各部長様、それから私、それから副会長で決めさせていただくということにさせていただきますが、その他のところは、概ねこのようなかたちでよろしゅうございますかね。

はい。それではですね、なかなか全体会でこれだけの人数にお集まりいただいて、ご意見言っていただくということも、大変なところがあるのかなというふうに思いますので、もし今後お帰りになられてからご意見等がありましたら、書面のかたちで、あるいはメールでも結構でございますが、ご意見いただければというふうに思いますので、よろしくお願いいたします。大体いつ頃までとかある。

●事務局

その他のところで。

●中村会長

その他のところでですね。分かりました。

それではですね、先ほど申し上げましたように、会長及び部長に一任というかたちで、今日いただいたご意見も含めて取り扱いさせていただきます。ただ今いただいた反映できるものは反映させていただきまして、さらに市側のご意向も盛り込んだかたちで、今回黒部市におかれましては、できるだけ直近の状況をタイムリーにしたいということで改訂を重ねられているというふうなことをお聞きしておりますので、そういったもの含まれます。そういったものも含めて作成した案を中間報告といたしまして、市長のほうに報告したいというふうに考えております。

それから第3回、次回の全体会の後に部長の皆さまとともに市長に面会いたしまして、答申というかたちをとらせていただきたいというふうに思いますので、よろしくお願いいたします。

本当に各部会におかれまして、5回、当初の予定より1回くらい多かったんじゃないかなと思うんですけども、ご議論いただいたおかげで、しっかりとしたものができつつあるのかなというふうに思います。

5 その他

●中村会長

それでは次第の5でその他というところ、事務局のほうからご説明お願いいたします。

●事務局

はい。それではその他のほうに移らせていただきます。

先ほどの意見書のほうでございますけれども、次回が全体会の答申の取りまとめということでございますので、1月10日頃までにご意見いただければ、少し内容について

	<p>と具体的に反映できるかどうか検討した上で、会長、部会長様にお示しする修正点として挙げるのが可能かなというふうに思っております。</p> <p>また、次回3回目の全体会が最終の全体会でございますが、先日会長と打ち合わせをさせていただいております、できれば2月15日水曜日を3回目の全体会のスケジュールとさせていただきたいなと思っております。会議自体は1時間半から2時間程度というふうに考えておまして、その会議後、市長への答申を予定しております。会長、部会長さん方には、さらに1時間程お時間をいただけたらと思っております、市長に面会して答申をするという想定で考えてございます。</p> <p>その他につきましては以上でございます。</p>
●中村会長	<p>はい。ありがとうございます。</p> <p>ご意見等ございましたら、意見書というかたちで1月10日でございます。1月10日までにいただければと思います。年末年始を挟みますので、非常にご多用かというふうに思いますが、ぜひお気づきの点があればお願いいたします。</p> <p>それから次回の全体会、今のところ2月15日水曜日、時間はまだこれからですね。</p>
●事務局	<p>時間はできれば午後が、その後市長への答申ということもございますので、午後を中心に検討させていただいております。</p>
●中村会長	<p>はい。2月15日、今のところ若干流動的ではありますが午後からということまで考えているということでございます。皆さま方には、あと1回ご審議いただきまして、しっかりしたものをつくりたいというふうに思っておりますので、ご協力方よろしくお願いたします。</p> <p>ご質問等ございますでしょうか。今のスケジュールについて。 (質問・意見なし)</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>はい。それではよろしくお願いたします。その他は特にございません。</p> <p>それではこれで議長の役目を終了とさせていただきたいというふうに思います。委員の皆さまには議事の進行にご協力いただきましてありがとうございました。</p> <p>ではお返しします。</p>
●事務局	<p>はい。中村会長ありがとうございました。</p> <p>それでは以上をもちまして第2回黒部市総合振興計画審議会全体会のほう閉じさせていただきます。委員の皆さまには大変適切なお審議を賜り誠にありがとうございました。</p>
6 閉会	